

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (29年6月号)

平成29年6月1日

さみだれの そそぐ山田に♪ 早乙女が 裳裾ぬらして♪ 玉苗植うる 夏は来ぬ♪
歌い継がれている昔の唱歌の一節ですね。旧暦は新暦よりひと月ほど遅いので、「さみだれ」(五月雨)といえは今でいう梅雨。今月の活動日は晴れてくれるでしょうか?

6月18日(日)

午前9時～11時 南口電停横「みんなの庭」に夏花(ペンタス、夏スマレ、マリーゴールド、ミリオングールドなど)120株を植えます。下ごしらえとして、役目を終えた冬・春花(パンジー、ビオラなど)を15日(木)に取り除き、土起こし・施肥をしておきます(協力前川種苗さん)。

午後2時～3時 帯屋町筋中央公園前で葛岡さんのギターと歌声に乗ってチャラシ配り。

7月の月例活動日は16日(日)を予定しています。8月はお休み(自由活動)ですが有志に水遣り当番をお願いするかも。お受け下さった方々に前もって御礼申し上げます。

5月のトピックス

○5月10日(水)

1年余りかけた北口ロータリーの「雨水貯留管築造工事」がこの程完了、他所に移植してあった樹木の里帰りが始まりました(写真左)。小さな森になるのが楽しみです。(写真右は東京新百合ヶ岡駅前)



○5月14日(日)活動日

南口花壇「みんなの庭」の草取りを入念に行いました。初参加の高知大生や久方ぶり参加のおんちゃんも加わってずいぶんはかどりました(下の写真左)。帯屋町ライブも快調です。アマリリス(写真中央)はもう終わり、ユリが咲き始めました(写真右)



駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥

幹事連絡先: 〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話: 090-8849-3651 E-mail: m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話: 090-7016-3743 E-mail: kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行: 四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」^{ナカタマサシ}名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(11) 860人の小さな桜守たちが大切にする

樹齢110年の「道德の先生」— 土浦市立真鍋小学校校庭の桜



なぜか校庭の中央に見事な桜



新1年生を背負う「お花見集会」



教室からの眺めです

今回は、小学館の雑誌「サライ」4月号の「特集：桜と人の物語」で日本全国から選ばれた14か所のひとつ、茨城県の小学校校庭の桜をご紹介します。

.....

小学校の桜は珍しくありませんが、樹齢110年の古木が5本、しかも校庭の真ん中に並んでいるのは壮観です(上の写真左)。昔、先輩卒業生から寄贈していただいた頃は校庭の端っこに植わっていたのですが、戦前に行われた再三の校庭拡張工事のたび、自分たちを見守り続けてくれた桜を伐採したり移植で傷めたりするにしのびず、そのまま残した結果だとのこと。

昭和56年に始まった恒例の「お花見集会」。今年も4月14日、校庭に「さくらさくら」の曲が流れると、6年生が新1年生を背負って満開の桜の木の周りを回り、他の児童たちがそれを見守りました(上の写真中央)。桜の下で遊ぶだけではなく、舞い落ちた花びらや降り積もる落ち葉を箒で掃除するのはもちろん子供たちの役割です。こうして、桜と子供たち、子供たち同士の絆が強まり、命あるもの、受け継がれてきたものを大切にする気持ちが自然と身につきます。「桜は道德の先生ともいえるでしょう」(地元保存会会長談)。

早いもので夏が近づいてまいりました。桜たちは今日も、校庭を元気に走り回る子供たちを見守り、若葉を繁らせた枝を風にそよがせていることでしょうか。伸びよ伸びよとささやきながら。

.....

儲けだ、効率だ、と目先の利を追う当世の風潮からすれば、「邪魔だから」とか何とかで、身の回りの自然が簡単に切り捨てられるのも珍しくありません。今回取り上げた「桜と人の物語」が一服の清涼剤になれば幸いです。